

# 令和2年度 教育行政執行方針

奥尻町教育委員会教育長  
石島孝司



3月10日から12日にかけて開催された「令和2年第1回奥尻町議会定例会」で、石島教育長の令和2年度における「教育行政執行方針」が示されました。  
その内容について、要約してご紹介します。

めまぐるしく社会情勢が変化し、将来の予測が困難な時代においても、教育は、地域を支える未来の人材を育成し、先人が創り上げてきた奥尻町が、将来にわたって持続・発展していくための重要な基盤であります。  
本町が積み重ねてきた歴史を基礎と

しながら、町民の皆さんのご協力のもと、豊かな心と郷土愛を持つ人づくりを進め、子どもたちの生きる力を育み、町長が定める奥尻町教育大綱に掲げた「ふるさとに学び、次代を担うあたたかい人づくり」を目指し、これに基づき「学校教育」と「社会教育」の2本の柱により、教育行政を推進してまいります。

## 学校教育

### 確かな学力の育成等

各学校においては、全国学力学習状況調査の結果分析を踏まえ、学校改善プランを作成し、組織的な学習指導の改善を図るとともに、家庭学習の充実や授業改善の取り組みなど、確かな学力の向上に努めてまいります。

小学校での土曜授業は継続実施し、英語教育を充実するための外国語指導助手(ALT)の配置も継続いたします。  
ICTの環境整備については、今、国において「GIGAスクール」構想を打ち出し、令和5年度までを目途に、義務教育において1人1台端末の学習

環境を段階的に整備する事としており、本町においても検討を重ね適切に対応してまいります。

また、これまで青苗小学校で実施している「1日防災学校」も実施する予定です。

さらに、教育上特別な支援を必要とする子どもの対応については、幼稚園や町等の関係機関と連携・協力を図り、個別の指導計画や支援計画に基づいた、きめ細かな指導の充実に努め、必要に応じ特別支援教育支援員の配置をしてまいります。



▲1日防災学校の様子

### 豊かな心を育てる教育の推進

子どもたちの健やかな成長と心豊かな未来のためには、自立し、共に支え合いながら、善悪の判断、人を思いや

る心、命や自然を大切にする心、ふるさとを愛する心などを育成することが大切であります。

道徳につきましては「考え、議論する道徳」への授業改善を進めてまいります。  
いじめや不登校対策につきましては、未然防止と早期発見・早期解消が重要であることから、町及び各学校で策定している「いじめ防止基本方針」に基づいた取組を実施し、学校・家庭・関係機関と連携を図ってまいります。

### 信頼できる学校づくり

教育は、子供たちへの深い愛情と、学校、家庭、地域相互の信頼のもとに、地域社会が子どもたちの成長を願い、協力し合って行われることが大切です。

本町の教職員の業務改善につきましては、すでに策定した「奥尻町立学校における働き方改革アクションプラン」に基づき、学校閉庁日の設定や部活動休養日の取組を実施し、「校務支援システム」を活用するなど、教職員の校務の効率化を進め負担軽減を図ってまいります。

また、児童生徒・保護者・地域の方々の信頼関係を損ねることのないよう、法令遵守・服務規律の保持などについて教職員一丸となった取組を徹底してまいります。

## 魅力ある高校づくりの推進

現在進めている『まなびじま「奥尻プロジェクト」を、行政と高校が一丸となって取り組むとともに、引き続き道内外での学校説明会や体験入学などの生徒募集活動をきめ細かく行つてまいります。

次に、島留学生の受入れ態勢については、まなびじま松風寮の増築工事を完了に伴い、留学生の受入れに一定の区切りができました。

令和2年度の島留学生の出願者は26名となっておりますが、多感な3年間を、ここ奥尻で学びたいと故郷を離れて暮らす留学生に対し、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。



▲増築工事を終えた松風寮

## 地域全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進

学校が地域の方々と学校教育の目標やビジョンを共有し、地域と一体となつて子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指して、文部科学省が推進する「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を、30年度小学校2校に導入し、31年度は中学校にこの制度を導入しました。

この取組は、地域と学校との連携を強化することから、その趣旨を生かし引き続き推進してまいります。

## 社会教育

本町の社会教育の推進につきまして、「奥尻町社会教育中期5カ年計画」と、「奥尻町子どもの読書活動推進計画」に基づき、着実に進めてまいります。

まず、「奥尻町社会教育中期5カ年計画」では、「自発的に参加し学び、地域の活性化を図る社会教育活動の推進」、「健康で充実した生活を営むため、誰もが気軽に参加できる社会教育活動の推進」、「自然と文化を生かし、豊かな心を育てる地域文化の創造」の3つの方向性を軸に、「家庭教育」、「青少年教育」、「成人教育」など、6つの領域による社会教育の推進を図つてまい



▲おくしりチャレンジスクール集合写真

ります。

家庭教育においては、保護者同士や地域の家庭教育ナビゲーターが定期的集まり、子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる場を提供することで、地域全体で課題解決に取り組む機会を醸成します。

青少年教育、成人教育においては、各社会教育関係団体や家庭教育サポーター企業などから構成される「奥尻町地域学び支援ネット」を有効活用し、「おくしりチャレンジスクール」をはじめ、様々な社会体験活動を展開するとともに、各学校と地域とのつながりをより深化させ、奥尻らしい「学校づくり」と「地域づくり」を進めてまいります。スポーツ・文化の振興においては、



▲絵本の読み聞かせの様子

様々な活動がなされやすいような環境を整備するとともに、自主的・自律的な活動を促し、健康で心豊かな充実した人生を送るための諸施策を進めてまいります。

「奥尻町子どもの読書活動推進計画」では、奥尻町海洋研修センター図書室を拠点とし、読み聞かせ団体「うみいろ」による乳幼児に対する読み聞かせや、図書室を期間限定でカフェにする「うみいろCafe」事業など、参加した子どもや保護者同士がつながる「憩いの空間」を提供しつつ、読書活動の推進を図つてまいります。

教育委員会といたしましては、町民の皆様の教育に対する負託に応えるため、奥尻町の教育の振興と発展に向け、各教育委員ともども最善の努力を尽くしてまいります。